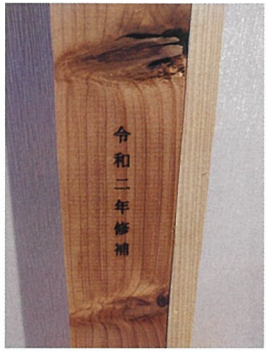
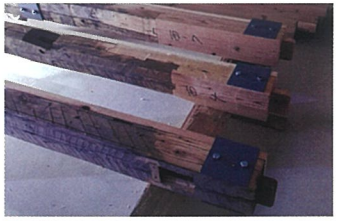
移築工事

解体前の調査を基に移築の方針等を決め、解体時にも調査を行い、建築当初がどのような造りであったのか、当初の部材がどのぐらい残されているのかを確認しました。移築復原にあたっては、当初の造りを守りながら、使える部材は全て使用しています。現代の建築基準法と照らし合わせつつ、構造補強等も行っています。

もしも、似たような建物を新築すれば、もっと早く完成するのでしょうが、建物が辿った経緯等はそこで絶たれます。当時のものを残すということは、建物にまつわる歴史、技術を保存することにも繋がります。



▶焼印について
主な新材には、「令和二年修補」の焼印を施しました。将来、修復となったときにどの工事の時のものか分かるようにするためです。



◀部材の再使用状況
新材と古材を継ぎ、かつ金具により一体化させ、強度を上げます。

▶移築工事状況
古材は黒褐色、新材は淡黄色です。使える古材は全て使用しています。

利用案内

観覧時間　午前9時30分から午後5時まで
休 館 日　水曜日、祝日の翌日、年末年始
観 覧 料　無料
駐 車 場　3台（建物南側）
満車の場合は、旧沼田貯蓄銀行（北隣）または天狗プラザをご利用ください。

所在地

〒378－0047　群馬県沼田市上之町1159-1
電話番号　0278(22)3110（生方記念文庫）

交通案内

公共交通　JR沼田駅から関越交通バス6分
「上之町」下車
自家用車　関越自動車道　沼田I.C.から約10分

周辺案内

旧日本基督教団沼田教会紀念会堂は、旧土岐家住宅洋館、旧沼田貯蓄銀行、生方記念文庫に隣接しております。

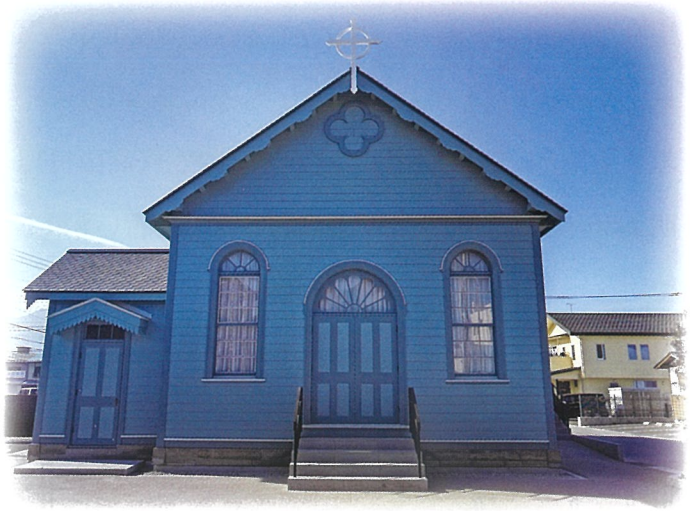
西側のテラス沼田2階には沼田市歴史資料館、沼田城跡である沼田公園内には、江戸時代に建築された旧生方家住宅がございます。

ぜひ、沼田の街を散策をかねて、ご覧いただければ幸いです。

(R3.3:10,000)

登録有形文化財

旧日本基督教団
沼田教会紀念会堂



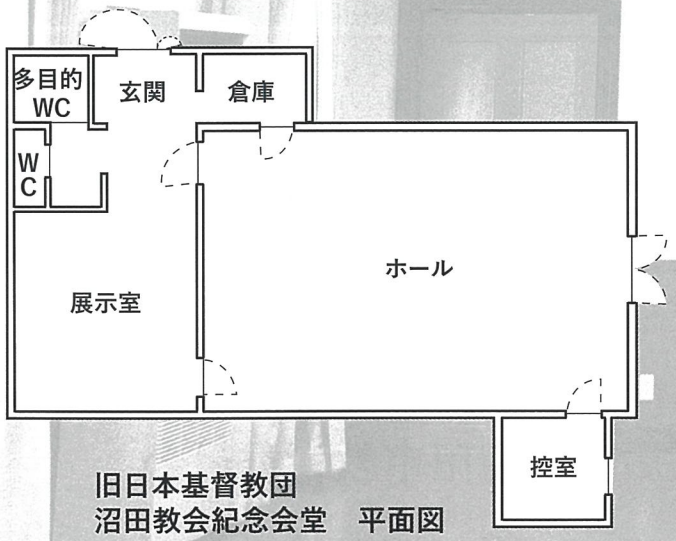
沼田市教育委員会

建物概要

- 建築年月日　大正3年(1914)12月13日
- 登録年月日　平成10年(1998)4月21日
- 再移築竣工日　令和2年(2020)10月31日
- 構　造　木造平屋建、天然スレート葺
- 建築面積　136.6㎡

建物の特徴

急勾配の屋根、外壁の下見板、縦長の上下窓などが特徴的です。設計・施工は埼玉県和戸(現宮代町)出身で神奈川県のフェリス女学院校舎、横浜海岸教会などを手掛けた小菅幸之助です。群馬県のキリスト教会建築としては、明治20年の名久田教会(高山村)、明治30年の島村教会(伊勢崎市)に次いで古いものです。



旧日本基督教団
沼田教会紀念会堂　平面図

旧日本基督教団沼田教会紀念会堂の歴史

旧日本基督教団沼田教会紀念会堂は、横浜で生糸貿易を行っていた星野家の健(アメリカに留学し、イギリスから帰国)の遺志に基づき建築され、教会に寄付したものです。建築は健の兄妹である星野光多(牧師)や星野あい(津田塾大初代学長・沼田市名誉市民)等によって行われ、大正3年12月13日に沼田市西倉内町甲663に完成しました。

以来、キリスト教信徒の活動の場として使用されましたが、老朽化のため、昭和63年に新しい会堂が建築されました。旧会堂は永年に亘る布教伝道の拠点であったことから、角田勤氏ら有志により、昭和63年に沼田公園北側の沼田市西倉内町634へ移築され、平成18年8月まで「関口コオ切り絵美術館」として利用されました。

その後、平成28年に前所有者から沼田市が寄贈を受けましたが、老朽化著しく修理を行う必要が生じました。また、修理を検討する際に今後の活用も踏まえた結果、沼田市上之町地内に再移築することが決定しました。

令和元年7月に解体移築工事を着工し、令和2年10月に移築完成となりました。今後は、沼田市の歴史を伝える歴史的建造物として、また文化活動等の場として、市民の力で保存と活用が計られていくことが期待されます。

当初の旧日本基督教団沼田教会紀念会堂(大正3年)

沼田公園北側への移築状況

再移築後の旧日本基督教団
沼田教会紀念会堂